

情報・システム研究機構 経営協議会（令和3年度第1回）議事要旨

日 時： 令和3年6月16日（水）13：00～15：15

形 式： Web会議

出席者：五十嵐道子委員、小山内康人委員、國井秀子委員、佐々木裕之委員、須江雅彦委員、津田敦委員、徳田英幸委員、藤井良一委員（議長）、津田敏隆委員、喜連川優委員、椿広計委員、渡邊和良委員、中村卓司委員、花岡文雄委員

オブザーバー：吉武博通監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議事に先立ち、議長より本会の成立要件の確認及び各委員の紹介があった。また、本会議の規則の確認を行い、副議長に津田敏隆委員を指名した。

○議長より、前回議事要旨（令和2年度第6回）の確認が行われた。

議 題：

【審議事項】

（1）情報・システム研究機構長選考会議委員の選出

議長より資料1-1, 1-2に基づき説明があり、審議の結果、安宅和人委員、五十嵐道子委員、小山内康人委員、國井秀子委員、佐々木裕之委員、須江雅彦委員、津田敦委員、徳田英幸委員を委員に選出することが了承された。

（2）情報・システム研究機構組織運営規則の改正

渡邊委員より資料2-1～2-5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

（3）令和4年度（2022年度）概算要求

渡邊委員より資料3-1～3-7に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。なお、「組織整備」、「ミッション実現戦略」及び「共通政策課題」にかかる要求内容については、今後の文部科学省との調整等により変更がある場合は機構長の一任とすることが了承された。

（4）令和2年度決算

渡邊委員より資料4-1～4-6に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。また、会議後の軽微な修正について機構長に一任することが了承された。

<意見概要>

●財務諸表上、新型コロナウイルスの影響は表れているのか。

→旅費等の執行が少なかった一方で、リモート環境の整備に充当するなど、経費の執行について工夫したところである。今後、在宅勤務がどのようなインパクトを与えたのか解析する必要がある。

(5) 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書

津田敏隆委員より資料5-1, 5-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。また、会議後の軽微な修正について機構長に一任することが了承された。

<意見概要>

●寄附金の減少に関して、ファンドレイザーを置くなどで改善されるのではないか。

→ファンドレイザーについては何回も提案されているため、規模や費用効果、個人寄付と共同研究等のバランス等も考慮しつつ、検討していく。

●寄附金収入に関して、大学の場合はスタートアップを支援して資金の獲得につなげるケースがあるが、大学共同利用機関はそのような連携は可能か。

→出資等の対象となるか確認する。

●新型コロナウイルスに対する取組の中でも、社会的な部分については、社会貢献の項目に記載しても良いのではないか。

→報告書の立て付けとして年度計画に対応する範囲内で取組を記載したが、別書きとなっている新型コロナウイルスに関する取組の箇所において、書き分ける形で社会貢献を強くアピールしていく。

●新型コロナウイルスへの対応について、対応スピードや柔軟性についてもアピールできることがあれば、取り入れて良いのではないか。また、4研究所がそろったからこそ成果を高く挙げている、という表現を使ってはどうか。

→戦略プログラムの「COVID-19 対応研究」で対応しており、各研究所それぞれ比較的迅速に研究成果をあげているため、指摘された点を出来るだけ取り入れて強調する。

(6) 第4期中期目標・中期計画の検討

津田敏隆委員より資料6-1～6-6に基づき説明があり、審議の結果、全体の方向性について原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。なお、評価指標を追記した最終版について7月に書面審議を行うこととした。また、会議後の軽微な修正について機構長に一任することが了承された。

<意見概要>

●SDGs（持続可能な開発目標）に様々な分野が関わっているが、SDGsという言葉があまり出てこないが、良いのか。

→明示的にSDGsを書いている中期計画は、今のところ1件だけで、他の計画にもSDGsに関係する取組が多々あるので、最終的に取りまとめる段階で検討する。

●機構が持っている最先端の研究能力を人材育成にも供するという意味で、教育・人材育成のうち「総合研究大学院大学および各大学との連携等による教育の充実」という項目を追加で選択してはどうか。

→当機構としては選択しないが、教育に関わる部分は総研大の方に書くこととしており、内容については今後調整していくことを考えている。

【報告事項】

（１） 経営協議会委員からの提言とその対応状況

渡邊委員より資料7に基づき、昨年度本会議委員からの提言とその対応状況について報告された。

（２） 第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果

津田敏隆委員より資料8-1～8-4に基づき、第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果について報告された。

（３） 令和2年度監事監査報告

吉武監事、門田監事より資料9に基づき、令和2年度監事監査について報告された。

（４） 令和3年度監事監査計画

吉武監事、門田監事より資料10に基づき、令和3年度の監事監査計画について報告された。

（５） 大学共同利用機関法人における会計監査人の選任

渡邊委員より資料11に基づき、会計監査人に有限責任あずさ監査法人が選任されたことが報告された。

【その他】

（１） 「連合体」の検討状況

議長より、資料12-1～12-4に基づき、「連合体」の検討状況について情報共有された。

以上

《配付資料》

- ・【資料0-1】 情報・システム研究機構経営協議会規則
- ・【資料0-2】 情報・システム研究機構経営協議会委員名簿
- ・【資料0-3】 情報・システム研究機構組織運営規則（抜粋）
- ・令和2年度第5回経営協議会議事要旨
- ・【資料1-1】 情報・システム研究機構長選考会議規程
- ・【資料1-2】 機構長選考会議構成員名簿（案）
- ・【資料2-1】（極地研）情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について
- ・【資料2-2】（極地研）組織改正図
- ・【資料2-3】（情報研）情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について
- ・【資料2-4】（情報研）組織改正図
- ・【資料2-5】 新旧対照表（組織運営規則）
- ・【資料3-1】 第4期国立大学法人運営費交付金の構成と評価のイメージ（案）
- ・【資料3-2】 総表_大規模学術フロンティア事業等
- ・【資料3-3】 総表_組織整備
- ・【資料3-4】 総表_ミッション実現戦略分（仮称）
- ・【資料3-5】 共通政策課題（基盤的設備等整備分）の概要
- ・【資料3-6】 各事項概要図
- ・【資料3-7】 施設整備事業要求事項一覧
- ・【資料4-1】 令和2事業年度財務諸表（簡易版）
- ・【資料4-2】 令和2事業年度財務諸表等
- ・【資料4-3】 令和2事業年度事業報告書
- ・【資料4-4】 令和2事業年度決算報告書
- ・【資料4-5】 独立監査人の監査報告書
- ・【資料4-6】 監事監査報告
- ・【資料5-1】 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書
- ・【資料5-2】 令和2事業年度業務実績報告説明資料
- ・【資料6-1】 第4期中期目標大綱（案）
- ・【資料6-2】 中期目標大綱（案）への意見
- ・【資料6-3】 ROISが選択する第4期中期目標
- ・【資料6-4】 ROIS第4期中期目標前文（案）

- ・【資料 6－5】 第 4 期中期計画整理表
- ・【資料 6－6】 第 4 期中期目標・中期計画（素案）
- ・【資料 7】 経営協議会委員からの提言とその対応状況
- ・【資料 8－1】 第 3 期中期目標期間（4 年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- ・【資料 8－2】 4 年目終了時評価原案
- ・【資料 8－3】 誤字脱字等一覧（抜粋）
- ・【資料 8－4】 誤字及び事実誤認
- ・【資料 9】 令和 2 年度監事監査報告・意見書
- ・【資料 10】 令和 3 年度監事監査計画書
- ・【資料 11】 会計監査人の選任について
- ・【資料 12－1】 第 4 期中期目標期間における大学共同利用機関の在り方について
- ・【資料 12－2】 「連合体」の検討状況について
- ・【資料 12－3】 一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス定款（案）（抜粋）
- ・【資料 12－4】 「連合体」設立理念、検討に当たったの考え方、及び各機関等の役割マトリクス